

研究・調査報告書

報告書番号	担当
200	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Language impairments in children with fetal alcohol spectrum disorders. FASD(胎児アルコール・スペクトラム障害)の子供における言語障害	
執筆者	
Wyper KR, Rasmussen CR.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
J Popul Ther Clin Pharmacol. 2011;18(2):e364-76.	
キーワード	
FASD;言語障害;コミュニケーション	
要 旨	
目的： 本研究では FASD を患う子供における言語障害を検証し、表現や発音をうまくできない領域を特定する。	
方法： 5-13 歳の子供 50 名, (FASD : 27 名, 対照群 23 名)を言語テスト CREVT-2, TOLD-P:3, TOLD-I:3 にて検査した。	
結果： FASD の子供では対照群と比較して、CREVT-2 試験の理解力と表現力のサブテストで有意に低い点数を示した。年齢の低い子供では対照群に対して、TOLD-P:3 試験の語彙関連性と文章模倣力のサブテストで有意に低い点数を示した。年齢の高い子供では対照群に対して、TOLD-I:3 試験の単語順序と文法理解、マラプロピズム(誤用語法)のサブテストで有意に遅かった。	
結論： FASD を患う子供における言語障害の影響が顕著に出る領域を特定した。得られた結果により、早期介入の重要性と子供の胎児期におけるアルコールへの暴露に関するエビデンスに基づいた支援を提供することが重要であると考えられる。	